

「山口県新型コロナウイルス感染症対策本部」

第38回本部員会議

日時：令和4年7月15日(金) 14:00～

場所：県庁4階 共用第1会議室

< 次 第 >

1 開会

2 議題

(1) 現在の発生状況について

(2) 国の今後の政策展開について

(3) その他

3 閉会

< 配布資料 >

資料1 現在の発生状況について

資料2 新型コロナウイルスに対する国の今後の政策展開について

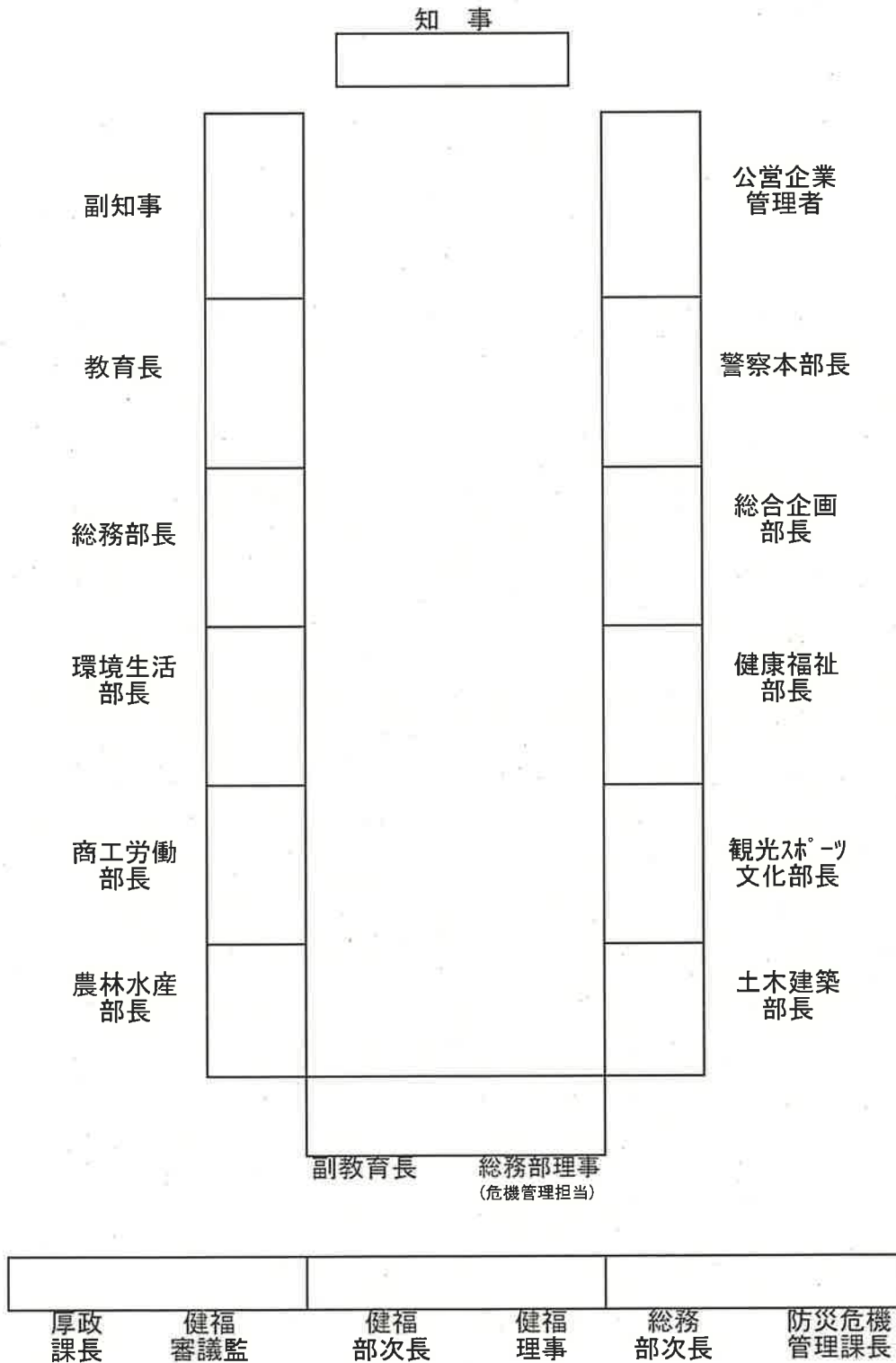
資料3 感染防止対策について

資料4 お盆期間中における薬局等での無料検査体制の確保について

資料5 県民の皆様・事業者の皆様へのお願い

山口県新型コロナウイルス感染症対策本部 第38回本部員会議 配席図

日時：令和4年7月15日(金)14:00～
 場所：県庁4階 共用第1会議室



山口県新型コロナウイルス感染症対策本部 第38回本部員会議

日時：令和4年7月15日(金)14:00～

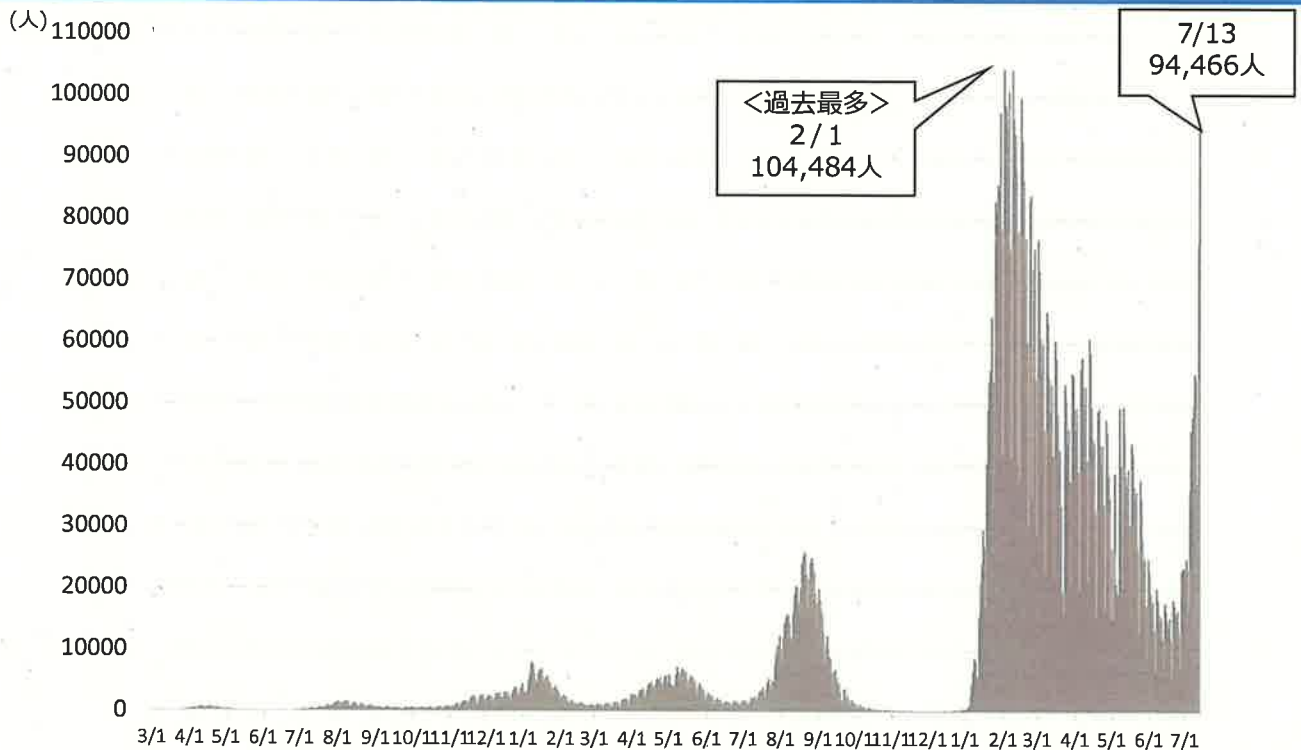
場所：県庁4階 共用第1会議室

- 1 本部長 知事
- 2 副本部長 副知事
- 3 本部員

部局名	本部員
総務部	総務部長 総務部理事（危機管理担当）
総合企画部	総合企画部長
環境生活部	環境生活部長
健康福祉部	健康福祉部長
商工労働部	商工労働部長（商工労働部次長代理出席）
観光スポーツ文化部	観光スポーツ文化部長
農林水産部	農林水産部長
土木建築部	土木建築部長
企業局	公営企業管理者
教育庁	教育長 副教育長
警察本部	警察本部長

現在の発生状況について

全国の新規感染者の推移



1

本県の感染状況 (7/14時点)

○感染者数 (累計)

53,582人 (うち死亡181人)

○現在の療養者数

重症	入院者数				宿泊療養者数	自宅療養者数等	合計
	中等症		軽症・無症状	計			
	Ⅱ	Ⅰ					
0人	14人	21人	126人	161人	132人	3,143人	3,436人

○6月以降の市町別感染者数 (8,893人)

下関市	1,635	宇部市	908	山口市	923	萩市	72	防府市	881
下松市	613	岩国市	1,413	光市	346	長門市	82	柳井市	142
美祢市	50	周南市	1,066	山陽小野田市	342	周防大島町	66	和木町	60
上関町	7	田布施町	60	平生町	113	阿武町	2	県外	112

○PCR等検査 (R2.2.15~R4.7.10)

累計 629,555件 (7/4~7/10実績 10,183件)

○オミクロン株BA.5系統の検出状況

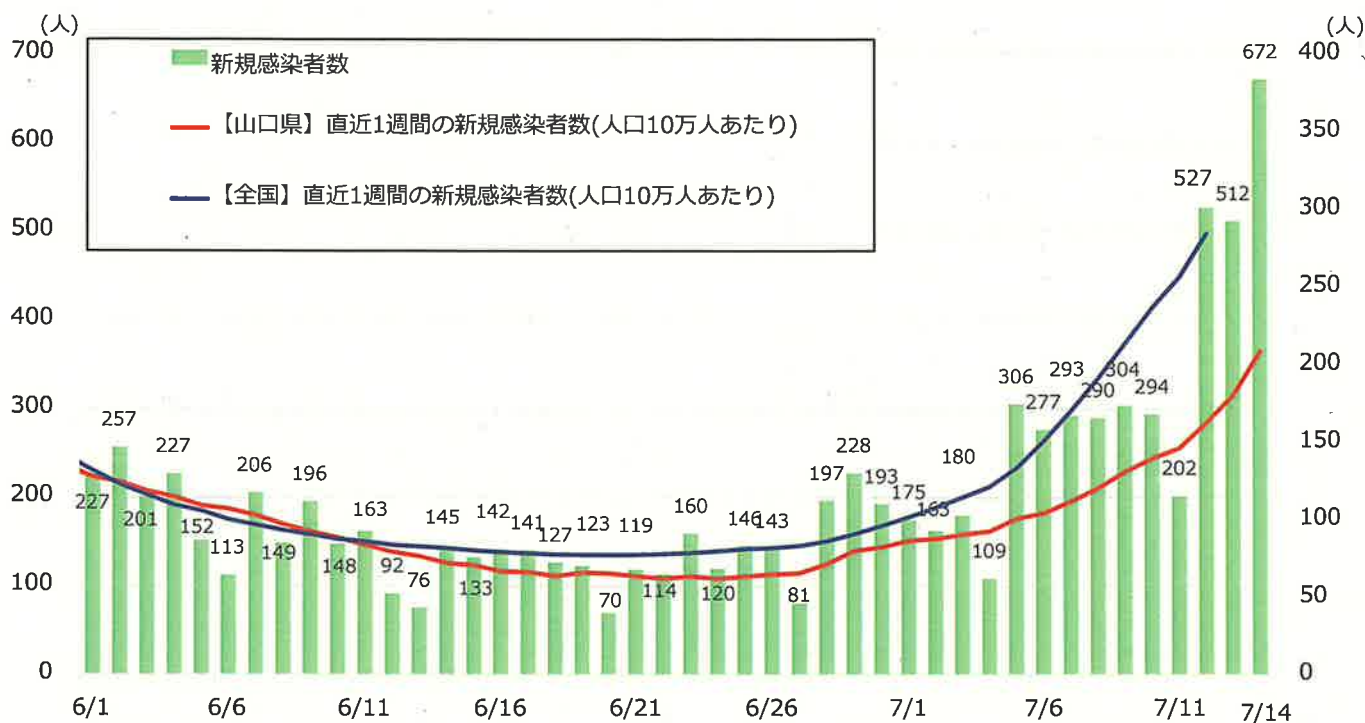
感染速度がより速いとされるBA.5への置き換わりが進んでおり、現在、約5割を占めている。

【本県におけるBA.5の検出率】 (6月) 3.5% → (7月) 46.9%

2

県内の新規感染者の推移

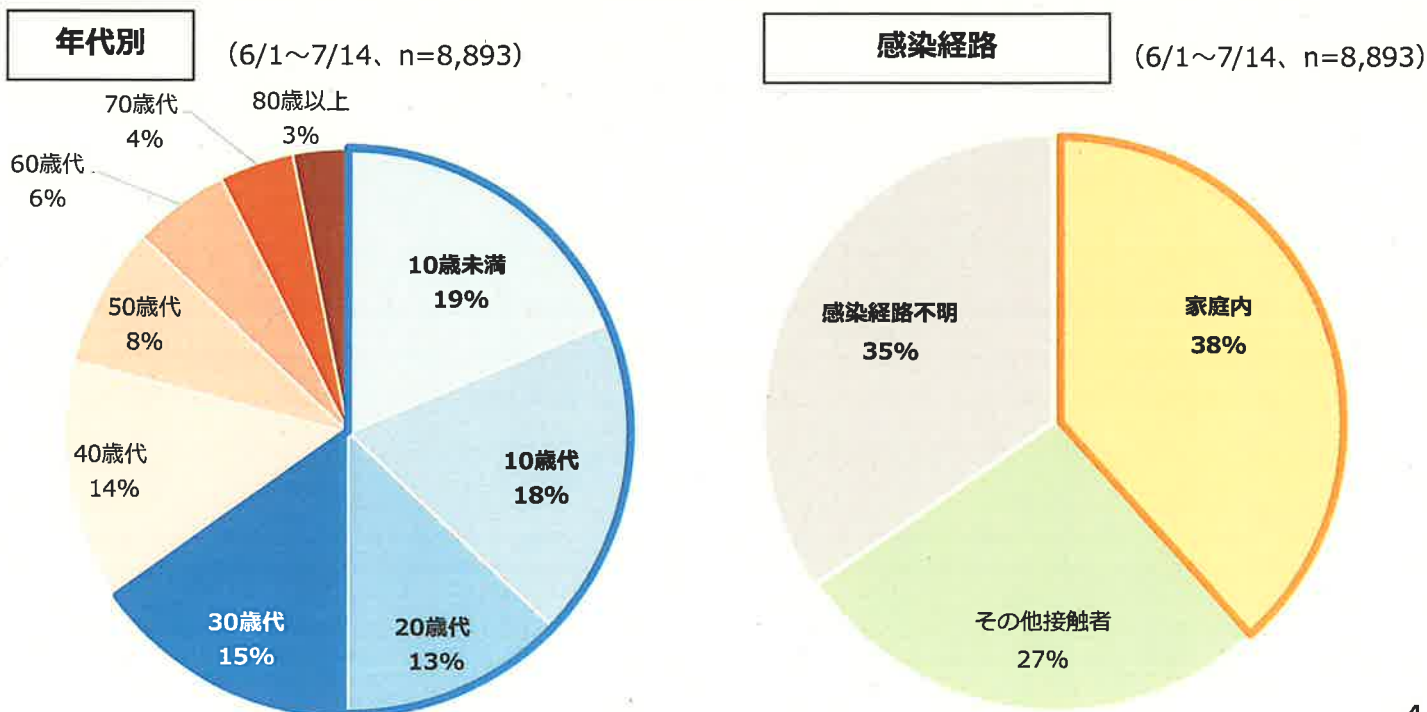
- 本県の新規感染者数は、6月末以降増加傾向に転じ、過去最多を更新するなど、第7波に入っており、今後も増加傾向は続くものと考えられる。
- 人口10万人あたりでは、本県は全国平均を下回っている。



3

県内の感染状況の分析

- 30歳代以下の若年層が約7割を占めている。
- 家庭内感染が約4割と最も多く、また、感染経路不明なケースも増えており、あらゆる場面での感染リスクが高まっている。



4

モニタリングの状況

モニタリング指標		現状値 (7/14)	レベル2～4の基準値		
			レベル2	レベル3	レベル4
医療提供体制	① 確保病床使用率	27.1% (161床)	20%以上 (119～297床)	50%以上 (298床以上)	100%超
	② 重症病床使用率	0.0% (0床)	20%以上 (10～23床)	50%以上 (24床以上)	100%超
	③ 3週間後に必要と予測される病床数(推計値)	-	-	確保病床数以上	-
	④ 療養者数 【人口10万人あたり】	3,436人 【256.0人】	320人以上 【23.8人以上】	800人以上 【59.6人以上】	1400人以上 【104.3人以上】
感染状況	⑤ 直近1週間の新規感染者数 【人口10万人あたり】	2,801人 【208.7人】	204人以上 【15人以上】	340人以上 【25人以上】	-
	⑥ 直近1週間のPCR検査等陽性率(7/4～7/10)	18.4%	5%以上	10%以上	-
	⑦ 直近1週間の感染経路不明な者の割合(7/2～8)	36.5%	50%以上	50%以上	-

レベルの判断にあたっては、医療のひっ迫度合いをより重視。①確保病床使用率はレベル2相当で、一般医療とコロナ医療の両立ができており、総合的に判断して現時点は「レベル2」。

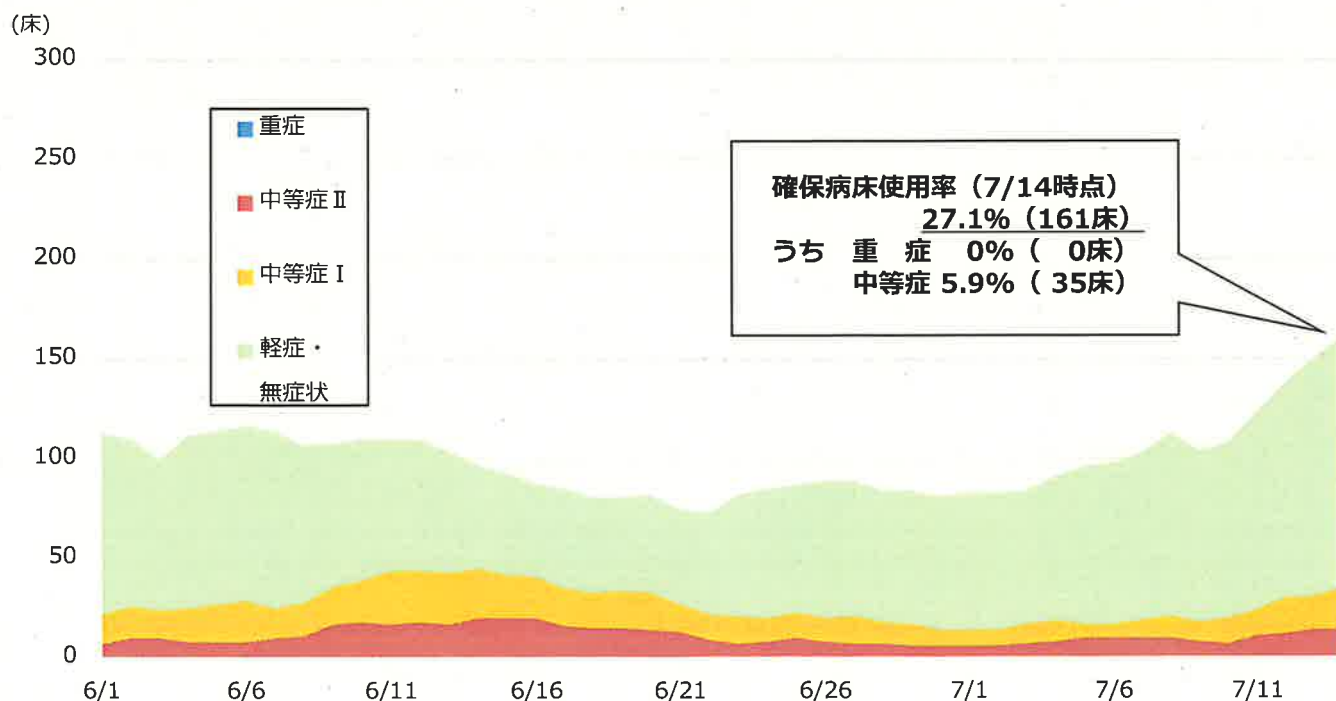
〔参考〕
レベル0…新規感染者数ゼロを維持できている状況
レベル1…一般医療とコロナ医療の両立ができていない状況
レベル2…医療の負荷が生じはじめている状況

レベル3…一般医療を相当程度制限しなければ対応できない状況
レベル4…一般医療を大きく制限しても対応できない状況

5

医療提供体制の状況

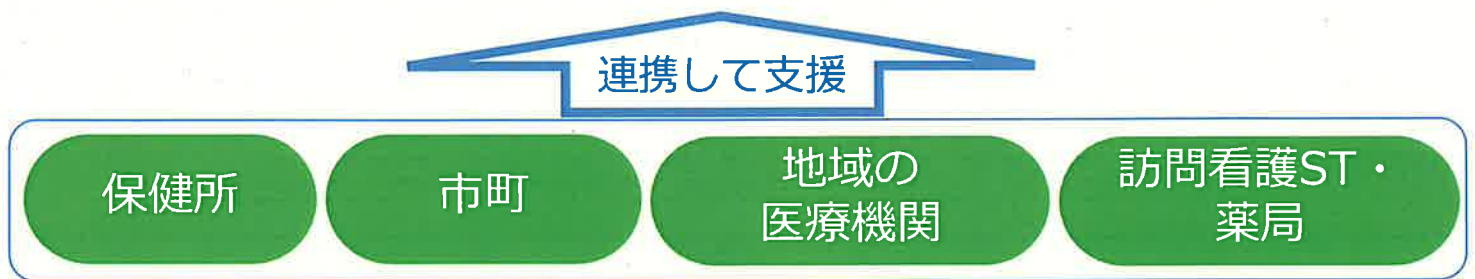
- 本県では、有症状者が適切・確実に治療を受けられるよう、医療機関と連携し、入院病床数595床を確保。
- 現時点、医療提供体制への影響は少ない状況。



6

自宅療養者への安心サポート体制

- ① 保健師・看護師等が健康状態を毎日電話で確認
(自宅療養者自らが、健康状態をスマホ等で報告)
- ② パルスオキシメーターを全員に配付
- ③ 体調変化時には医師等が訪問等診療 (協力医療機関: 277)
- ④ 薬は近所の薬局から配送 (協力薬局: 452)
- ⑤ 食料など日常必需品は委託 (宅配) 業者が配送
- ⑥ 生活のお困りごとは居住地の全市町がサポート (自宅療養者支援の協定)



7

ワクチン接種率

○ 3回目接種率

(7/13時点)

全人口比	高齢者層 (65歳以上)	中高年層 (40～64歳)	若年層 (12～39歳)
65.6%	90.1%	71.5%	46.8%

○ 4回目接種率 (全人口比)

(7/13時点)

山口県	2.84%
-----	-------

8

新型コロナウイルスに対する国の今後の政策展開について

(R4. 7. 14 岸田総理記者会見要旨)

現状認識

- ・ 感染が全国的に拡大、若者を中心にすべての年代で感染者が増加
- ・ BA.5への置き換わりが進む中で、更なる感染拡大に最大限の警戒必要
- ・ 現時点では、重症者数、死亡者数、病床使用率は低い水準

今後の政策展開

[方向性]

- ・ 医療体制を維持・強化しながら、引き続き最大限の警戒を保ちつつ、社会経済活動の回復に向けた取組を段階的に進める。
- ・ これまで6回の感染の波を乗り越え、我が国全体としての対応力が強化されており、新たな行動制限は現時点では考えていない。
- ・ 社会経済活動と感染拡大防止との両立を維持するため、メリハリの利いた感染対策をさらに徹底する。

[具体策]

○ ワクチン接種

- ・ 重症化リスクのある高齢者等の4回目接種について、高齢者施設での接種促進など、できるだけ早い接種に向けた取組を進める。
- ・ すべての医療従事者及び高齢者施設の従事者を対象に、4回目ワクチン接種を行う。（来週以降速やかに接種を進める。）
- ・ 若い世代には、ワクチン3回目接種を重ねてお願い。

○ 無料検査拠点の整備

- ・ 全国約1300箇所の無料検査拠点で受検可能。
- ・ 主要な駅や空港等で約100箇所以上の臨時の無料検査拠点を整備する。

○ 基本的な感染予防対策

- ・ 手指消毒、室内会話時のマスク着用などをお願い。
- ・ 冷房で籠りがちとなる室内や飲食店内での十分な換気をお願い。

※これら対応策については、15日(金)の政府対策本部で決定

感染防止対策について

1 ワクチン接種の促進

(1) 若年層への3回目接種

⇒ 接種機会の拡充、接種しやすい環境整備

区 分		6 月	7 月以降(予定)
集団接種会場	市町	9 カ所	5 1 カ所
	県	県内 3 カ所設置 (毎週金曜日の夜間)	8 月末まで延長
「予約なし接種」や 「夜間の接種(18 時以降)」 に取り組む市町数		3 市町	9 市町

(2) 4 回目接種

- 重症化リスクの高い高齢者施設等入所者について、7 月未までに、約 9 割の施設で接種完了予定
- 今後、対象者として拡大予定の医療従事者・高齢者施設の従事者についても、迅速な接種に取り組む

2 クラスタ対策の強化

- 重症化リスクの高い高齢者施設等や子どもたちが通う保育所等でのクラスター発生の未然防止を目的として、抗原検査キット(3 万人分)を市町に配布予定

お盆期間中における薬局等での無料検査体制の確保について

お盆期間中は、無料検査の需要増加が見込まれることや、帰省等を通じた感染拡大が発生する恐れがあることから、帰省や旅行の出発前に検査を容易に受けられる体制の確保を図り、感染拡大を防止しながら、日常生活や社会経済活動の継続につなげる。

○ 無料検査体制の確保

(1) 薬局等での検査体制の確保

地域の薬局等の検査所に対し、お盆期間中の検査所の開設や検査時間の延長等を働きかけ。

(薬局等の検査体制の概要)

検査所数	71箇所 ※7月15日現在
検査内容	<p><ワクチン検査パッケージ制度・対象者全員検査等の定着促進> 対象者：無症状、3回目ワクチン接種未了、旅行・帰省等のために検査が必要等の要件を満たす者 実施検査：原則、抗原定性検査</p>
	<p><感染不安を感じる無症状者への検査> 対象者：感染不安を感じる無症状者（県民） 実施検査：PCR検査又は抗原定性検査</p>

(2) 主要駅や空港等での臨時検査所の設置

主要な駅や空港など不特定多数の者が集まる場所での臨時検査所の設置に向け、検査実施事業者の確保等に取り組む。

(設置場所や期間については、今後、決定)

県民の皆様・事業者の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株 BA.5 への置き換わりやワクチン予防効果の低減により、全国的に感染が広がっており、本県においても、6 月末以降、新規感染者が増加傾向に転じ、過去最多を更新するなど、第7波に入っています。

こうした中、これから夏休みを迎え、学校の部活動やスポーツ活動が活発化することや、人の移動が特に活発化するお盆の時期を迎えることから、これ以上の感染拡大を防止するため、県民・事業者の皆様には、基本的な感染予防対策を徹底するなど、以下の感染防止に係る取組に、是非ともご協力をいただきますようお願いいたします。

＜感染予防対策の徹底＞

◎ ワクチン接種の有無に関わらず、引き続き、「新しい生活様式」を実践いただき、3密を避け、「十分な換気」、「まめな手洗い・手指消毒」、「会話時のマスクの着用」、「共用部分の消毒」など、基本的な感染予防対策の徹底をお願いいたします。

なお、マスク着用の際には、熱中症に十分注意してください。

◎ 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動は自粛をお願いします。

◎ 外出にあたっては、業種ごとの感染拡大予防ガイドラインを遵守している施設等を利用するとともに、外食する際は、感染防止対策に取り組む「やまぐち安心飲食店」等を利用し、飲食店から求められる感染防止対策には協力してください。

特に、会食時には、3密を避けることはもちろん、食事の合間の会話の際にはマスクを着用するなど、徹底した感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

◎ 発熱や咳など、少しでも感染を疑う症状が出た場合には、外出や人との接触は避け、速やかに、かかりつけ医や受診・相談センター等に相談してください。

◎ 無症状でも感染不安を感じる方は、市町などが窓口となっている集中PCR検査や県が指定する身近な薬局等を活用し、PCR検査又は抗原定性検査を受検してください。

また、旅行や大人数での会食等の活動に際しては、ワクチン接種や薬局等での無料検査を積極的に活用していただくことにより、安全・安心を高めていただきますようお願いいたします。県外から帰省を予定されているご家族などにも、お住まいの都道府県において、帰省前に検査を受検されることなどを呼びかけてください。

◎ 県内の学校においても複数のクラスターが発生している状況を踏まえ、生徒の皆さんにおかれては、部活動において、活動中はもちろん活動の前後や移動、大会等への参加の際も、感染防止対策を徹底してください。

＜企業活動等における注意＞

- ◎ 職場ごとに感染症対策担当者を選任し、業種ごとの感染拡大予防ガイドラインを改めて徹底してください。
特に、休憩室、喫煙所、更衣室等居場所の切り替わりに注意し、会話時のマスク着用、手指消毒、十分な換気、共用部分のこまめな消毒などの感染防止対策を徹底するようお願いいたします。
- ◎ 在宅勤務（テレワーク）やWeb会議の活用等により、人との接触機会を低減する取組を促進するようお願いいたします。
在宅勤務等の実施が難しい事業所においては、職場における感染拡大防止対策の工夫・強化を徹底してください。
- ◎ イベントの実施にあたっては、県の示す規模要件に基づき開催し、参加人数が5千人超かつ収容定員が50%超となる場合は、安全計画を策定して県の確認を受けてください。
- ◎ 安全計画を策定しないイベントについては、県の示すイベント開催時に必要となる感染防止対策への対応状況をホームページ等で公開するようお願いいたします。
- ◎ 飲食やイベント、旅行等の活動においては、安全・安心を高める、ワクチン接種歴や陰性の検査結果を確認する取組の活用をご検討ください。

＜ワクチン接種の検討＞

- ◎ ワクチン接種は発症と重症化を予防しますので、ワクチンの効果と副反応等のリスクを理解し、接種をご検討ください。特に、接種率が低い若年層の皆様には、ご自身と家族や友人など、大切な人を守るため、接種のご検討をお願いいたします。
- ◎ ワクチン接種後も、基本的な感染予防対策を徹底し、「うつさない」「うつらない」行動をお願いいたします。

＜感染された方等への差別・偏見の防止＞

- ◎ 感染者自身のほか、最前線で治療にあたる医療従事者、感染者が発生した団体に属する方、県外との往来のあった方や外国人等に対する誹謗中傷や差別は絶対にやめてください。
- ◎ ワクチンを接種していない方及び接種できない方に対しても同様に、誹謗中傷や差別等を絶対にしないようお願いいたします。
- ◎ 公的に出される情報を確認して、根拠のない情報やうわさ話などに惑わされないよう注意をお願いいたします。

令和4年7月15日

山口県知事 村岡 嗣 政